

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

① 令和元年度の部会活動総括

1. 令和元年度建設界の担い手確保・育成に
関する取り組みについて…………… P1
2. 各部会の取り組み報告…………… P4

R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

- 令和元年年6月～7月に第1回各県（新潟、富山、石川）部会を開催。
- 昨年度の協議会で出された課題に関する議論や、今年度に予定している活動や新たな取り組みについて情報を共有し、現状の課題等に関する意見交換を行った。

令和元年度：第1回県部会開催概要

【新潟県部会】令和元年6月26日（水）10:00～12:00

【富山県部会】令和元年7月18日（木）10:00～11:30

【石川県部会】令和元年7月17日（水）13:30～15:00

【開催地】北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

新潟県部会開催状況



富山県部会開催状況

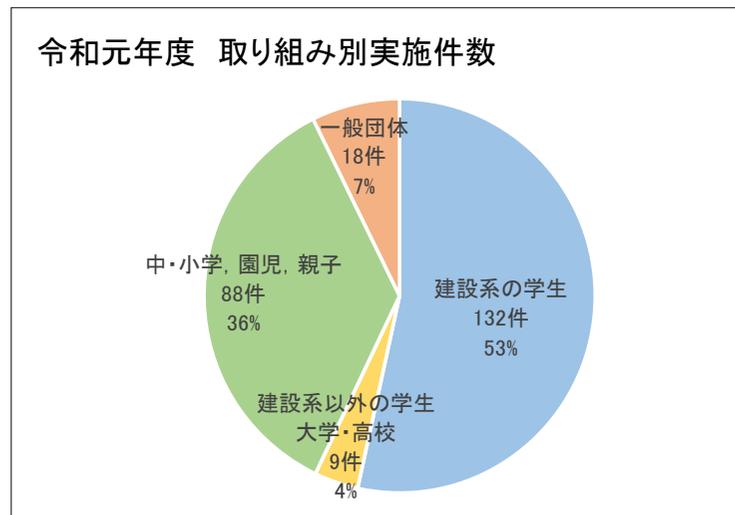


R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

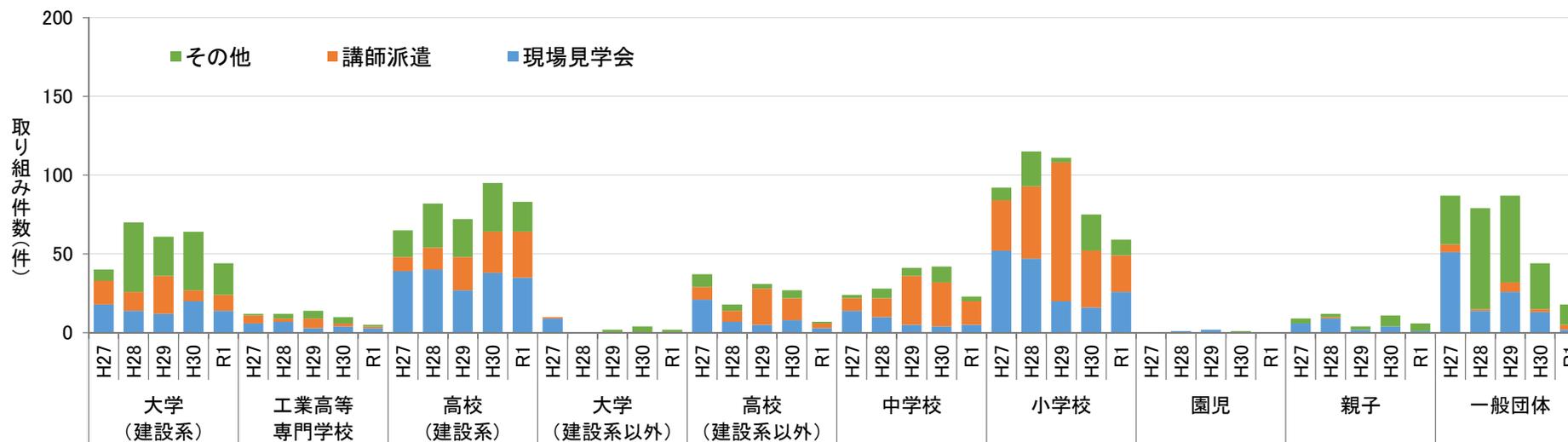
- ・令和元年度において、各機関の活動数は247件であり、そのうちの58%が他機関・団体と連携し行われている。
- ・対象者別では、建設系の学生を対象とした取り組みが最も多く実施されており、全体の53%を占めている。

※令和元年度の活動件数は、令和元年10月時点における各機関からの報告に基づき集計している。

	建設系の学生対象	建設系の学生以外を対象			合計	各機関で連携・合同で取り組んだ件数
		大学 高校	中・小学 園児・親子	一般 団体		
H27年度	117 (31%)	47 (13%)	125 (33%)	87 (23%)	376 (100%)	164 (44%)
H28年度	164 (39%)	18 (4%)	156 (37%)	79 (19%)	417 (100%)	171 (41%)
H29年度	147 (35%)	33 (8%)	158 (37%)	87 (20%)	425 (100%)	146 (34%)
H30年度	169 (45%)	31 (8%)	129 (35%)	44 (12%)	373 (100%)	201 (54%)
R元年度	132 (53%)	9 (4%)	88 (36%)	18 (7%)	247 (100%)	143 (58%)



令和元年度 対象別取り組み件数



R元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

【留意事項】

- ・本資料は、各機関・団体で、対象毎にどのような取り組みを行ったのか、幅広く事例を集め、各機関・団体が次年度以降の取り組みを考えるうえでの参考とすることを目的に整理したものです。
- ・実施件数は概ねの傾向を把握するために集計したものです。(※各機関・団体の判断により取り組みを分類し、報告頂いているため、分類の不整合を含みます。)

	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				
	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	現場見学会	講師派遣	その他	合計	
大学(建設系)	18	15	7	40	14	12	44	70	12	24	25	61	20	7	37	64	14	10	20	44	
工業高等専門学校	6	5	1	12	7	2	3	12	3	6	5	14	4	2	4	10	3	1	1	5	
高校(建設系)	39	9	17	65	40	14	28	82	27	21	24	72	38	26	31	95	35	26	19	83	
大学(建設系以外)	9	1	0	10	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	4	0	0	2	2	
高校(建設系以外)	21	8	8	37	7	7	4	18	5	23	3	31	8	14	5	27	3	3	1	7	
中学校	14	8	2	24	10	12	6	28	5	31	5	41	4	28	10	42	5	15	3	23	
小学校	52	32	8	92	47	46	22	115	20	88	3	111	16	36	23	75	26	23	10	59	
園児	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	
親子	6	0	3	9	9	1	2	12	2	0	2	4	4	0	7	11	1	0	5	6	
一般団体	51	5	31	87	14	1	64	79	26	6	55	87	13	2	29	44	2	3	13	18	
合計	一般団体を含む	216	83	77	376	149	95	173	417	102	199	124	425	107	115	151	373	89	84	74	247
	一般団体を除く	165	78	46	289	135	94	109	338	76	193	69	338	94	113	122	329	87	81	61	229

※令和元年度の活動件数は、令和元年10月時点における各機関からの報告に基づき集計している。

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 令和元年度の活動を推進するため、取り組みの展開について検討。

開催概要

【新潟県部会】 令和元年6月26日（水）10:00～12:00

• 〔会場〕 北陸地方整備局 4F会議室

• 〔出席機関〕

〔行政〕 北陸地整、新潟労働局、新潟県教育委員会、新潟市

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設ITカンパニー協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育〕 長岡工業高等専門学校、塩沢商工高校、中条高校

検討結果

令和元年度は、昨年度に引き続き合同企業セミナーを実施するなど、各大学・建設系高校への取り組みはもちろんのこと、小中学生などの将来の担い手に対しても、建設業の魅力を発信するなどの取り組みを引き続き進める。また、普通科高校の進学組へのPRの仕方についても議論していく。

意見等

- ①今年度の本会議は10～11月頃、県部会は11～12月頃に実施することで了解。
- ②令和元年度は引き続き各大学、建設系高校、小中学生等へ建設業の魅力を発信していく。
- ③県部会のイベントとして、合同企業セミナーは昨年度の同様に実施する。また、全国産業教育フェアには、出来る範囲で協力する形とする。
- ④普通科高校へは進学組も含め建設界のPRが必要。
普通科高校生徒の入職データは県教育委員会等の協力を得る。

新潟県部会開催状況



塩沢商工高校 中川校長

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (R1.7.18) 開催概要

- 今年度第1回目となる**富山県部会を令和元年7月18日(木)に開催**。昨年度の協議会で出された課題を議論し、本年度の体制・活動予定等について情報を共有した。
- 意見交換では、**実際の体験を含めたPRや、小中学生などの将来の担い手**に対して、さらに**普通科高校などの進学組へのPRの重要性**等が議論された。
- また、**学生や生徒の進路に影響を与える保護者への建設業界の魅力発信の重要性**が議論された。
- R1も引続き、**県内産学官の関係者の連携のもと活動を進めていくことで合意**。

開催概要

日時 令和元年7月18日(木) 10:00~11:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関(順不同)

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

会員からの主な発言

- ・現場見学の際に、実際に就労する若手技術者からの話には効果がある。できれば「起床から就寝まで」「休日の過ごし方」などの技術屋さんの一日を話してほしい。
- ・保護者には未だ建設業界が「3K」と認識している。払拭すべき。
- ・建設関係に対する魅力が上がってきている。今後も引き続きPRが必要。また、体験型のPRが有効。
- ・就労確保のため、賃金向上を建設産業全体で考えていかなければならない。
- ・本協議会を開催することを効果測定する必要がある。そうすればさらに盛り上がるのでは。

開催状況



富山新聞 (23 面)
令和元年7月19日(金) 朝刊

建設工業新聞 (5 面)
令和元年7月19日(金) 朝刊

産学官連携し魅力発信を

担い手確保・育成推進協

県部会開く

対応を図っていききたい」との考えを示した。協議会では、北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会および富山県部会の18年度の取り組みの報告、富山県部会の19年度の活動予定の説明があった。



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会(部会長・石井宏幸、北陸地方整備局富山河川国道事務所長)が18日、

同事務所で開催され、19年度の体制や活動予定などを確認した。写真。冒頭、あいさつに立った石井部会長が「北陸地方整備局の19年度政策として、若手・女性技術者の評価や建設現場の週休2日の推進など、品質確保や担い手確保・育成の取り組み、i-Constructionなどをより一層推進していく。今協議会でも引き続き産学官の連携のもと、建設

建設業の担い手確保策を考える

富山で協議会県部会

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会県部会は18日、富山市の国土交通省

富山河川国道事務所で開催、県内の建設業者や行政機関、土木系学科を持つ高校の担当者らが若者に建設業の魅力を伝える方法を考えた。

大学生や高専生が夏休み

となる7～9月に市民を対象とした現場説明会を開くほか、小学校や高校での出前講座、土木事業を紹介する冊子の県内学校への配布など、今年度の事業計画を報告した。

R元年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会【第一回石川県部会】開催報告

- 7月17日、産学官が連携の「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】」を開催し、各機関による今年度計画されている現場見学会等の活動予定について紹介、さらに現状の課題や協議会として今年度の新たな取り組み等に関する意見交換を行いました。
- 参加機関からは、「学生が現場見学会等を通じて意識がどのように変化するか把握し、今後の取り組みにフィードバック」「女性をターゲットにした取り組みも必要」「離職については中堅社員の意識が問題」といった様々な課題、意見が寄せられました。

開催概要

【日時】令和元年7月17日（水）13:30～15:00

【開催地】金沢河川国道事務所 会議室

【構成機関】

【行政】北陸地整建政部、金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会

【建設産業】日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルツ協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会

【教育】金沢大学、金沢工業大学、石川県立大学、石川高専、金沢市工高、石川県立羽咋工高、小松工高、翠星高校

会議の主な発言要旨

- ◆ 就職する前の学生について、現場見学会等の取り組みを通じて意識の変化をアンケート調査により把握し、今後の取り組み、活動の方針にフィードバックさせてはどうか。
- ◆ 若手とのコミュニケーションややりがいを高めることが求められている。
- ◆ 女性をターゲットにしたアピールや魅力を伝える取り組みも必要。若手アンケートでも、女性を対象とすれば、男女の違いや活躍の場は同じようにあるという実態が分かるのではないか。
- ◆ 昨年実施した若手アンケートは、我々が日頃感じていることが結果に出ている。離職については、企業のトップの方は理解されているが、中堅の方と若手間の人間関係の問題が大きい。業界全体で離職が少なくなるよう、意識を変えてもらう必要がある。学生は小学生の頃から叱られたことがなく、叱られてすぐに辞める。叱られながら働いてきた中堅の方には理解できないようである。

開催状況

